

弔辞

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学政経資料センター 公開日: 2013-05-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 飯塚, 仁之助 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/15024

弔 辞

飯 塚 仁之助(前政治経済学部長)

昭和58年12月17日午前6時30分頃「電話です」との妻の言葉に起こされ、受話器を取って始めて橋川文三先生が他界されましたことを知りました。以前から、御身体の具合が少しかんばしくないということで、あまりおあいする機会もありませんでしたが、10月に一度校内でおあいしましたので、始めは耳を疑いましたが、それも事実であることを知らされました時は、只只驚愕するばかりでした。

想えば、橋川先生は昭和34年、明治大学政治経済学部兼任講師として奉職され、その後専任となられ、講師、助教授を経て、昭和45年教授になられました。在職期間20余年間、先生の幅広い知識と長年に亘って培かれた豊富な経験とを駆使された名講義は、学生に時間の経つのを忘れさせたと聞いていますし、後進の育成にも鋭意努力されましたことで、われわれ後輩にとっての範を示して下さいました。

先生は、専任教員として教壇に立ち、熱心に学生に教えるかたわら、絶えず研究にも専念され、その業績は「日本浪漫派批判序説」「歴史と体験」「日本の百年」「ナショナリズム」「近代日本政治思想の諸相」をはじめ著書、論文は枚挙に遑がありませんので、先生の何処にあれ程の精力があられたのか不思議に思えてなりませんし、全く敬服させられてしまいました。

橋川先生と同じ入試出題グループの方々は、毎年春に「花見の会」秋に「紅葉狩りの会」を催しております。私も嘗ってそのグループの一員だった関係で、会の度毎に参加のお誘いをうけておりましたが、最近は何用にも追われ、時々しか参加しませんでしたので、先生と私が桜の花の下で、大学のこと、授業のこと、入試のこと等を語り合いながら盃を交わしたのは56年が最後でした。今度こそ参加させていただこうと楽しみにしておりましたのに、先生が亡くなられた今となってはそれも夢となってしまいましたことが本当に残念に思われ

てなりません。

わが政治経済学部は、創立80周年を迎え、これを契機として教職員一同心を新らたにして協力一致更なる発展に向って努力しなければなりませんので、先生にはまだまだ御協力をお願いいただかなければなりませんでしたが、今先生を失いましたことは明治大学にとっては申すに及ばず、政治経済学部にとっても大きな痛手を負ってしまいましたが、私を含めて関係者一同先生の御遺志を体し、学部の一層の発展のために邁進することを先生の御霊前で固く誓いますと共に、心から先生の安らかな御冥福をお祈り致します。